

## 第6章 事業計画

水道の理想像を「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点からとらえ、今後10年間の建設改良に係る事業の計画を示します。

### ◆ 水道事業経営プラン 事業計画 ◆

単位：千円

観点	施策	事業	事業費										合計
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
安全	安全・安心な水の供給	耐塩素菌対策施設整備	45,846	270,858	265,650	0	0	0	0	30,000	200,000	0	812,354
		有機塩素化合物除去装置設置	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	200,000
		自動測定器設備設置	20,304	26,460	26,460	26,460	26,460	0	0	0	0	0	126,144
		事業費計	66,150	297,318	492,110	26,460	26,460	0	0	30,000	200,000	0	1,138,498
強靱	災害に強い水道	施設耐震化	46,530	0	0	0	0	240,000	360,895	12,600	163,800	73,500	897,325
		管路耐震化	483,101	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	4,289,678
		事業費計	529,631	422,953	422,953	422,953	422,953	662,953	783,848	435,553	586,753	496,453	5,187,003
持続	経営の健全化	施設設備更新	247,907	108,805	356,650	532,000	128,100	124,500	267,000	135,000	22,500	35,400	1,957,862
		配水管網再編	1,210	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	14,710
		事業費計	249,117	110,305	358,150	533,500	129,600	126,000	268,500	136,500	24,000	36,900	1,972,572
事業費合計			844,898	830,576	1,273,213	982,913	579,013	788,953	1,052,348	602,053	810,753	533,353	8,298,073

## ◆ 安全 ◆

単位：千円

事業	施設名等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	施設別計
									紫外線処理施設設計	紫外線処理施設設置		
耐塩素菌対策 施設整備	四ツ谷 配水管理所								30,000	200,000		230,000
	第1配水場		紫外線処理施設設計 48,258	紫外線処理施設設置 265,650								313,908
	第2配水場		紫外線処理施設設計 45,846	紫外線処理施設設置 222,600								268,446
	計	45,846	270,858	265,650	0	0	0	0	30,000	200,000	0	812,354
有機塩素化合物 除去装置設置	第1配水場			紫外線処理施設設置 200,000								200,000
	計	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	200,000
自動測定器 設備設置	その他	A-14観測井戸 4,644	東京コメン 26,460	消防本部 26,460	中原小 26,460	座間公民館 26,460						126,144
		監視画像配信システム設置 15,660										
	計	20,304	26,460	26,460	26,460	26,460	0	0	0	0	0	126,144
	合計	66,150	297,318	492,110	26,460	26,460	0	0	30,000	200,000	0	1,138,498

◆ 強靱 ◆

単位：千円

事業	施設名等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	施設別計
施設耐震化	第1水源 耐震化工事	46,530					耐震化工事 240,000	耐震化工事 360,000	池耐震化設計委託 12,600	池耐震化工事 163,800	池耐震化工事 73,500	46,530
	第2水源											600,000
	四ツ谷 配水管理所							耐震化設計委託 895				249,900
	その他											895
	計	46,530	0	0	0	0	240,000	360,895	12,600	163,800	73,500	897,325
管路耐震化	配水管 年間6.9km	年間6.9km 421,436	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 350,000	年間5km 3,571,436
	耐震化工事											
	導送水管 年間250m											
	耐震化工事											
	管路耐震化 設計委託	21,860	22,953	22,953	22,953	22,953	22,953	22,953	22,953	22,953	22,953	228,437
事業損失 調査委託等	39,805											39,805
	計	483,101	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	422,953	4,289,678
	合計	529,631	422,953	422,953	422,953	422,953	662,953	783,848	435,553	586,753	496,453	5,187,003

◆ 持続 ◆

事業	施設名等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	施設別計	
施設整備更新	第1水源			受変電設備更新設計 7,500	受変電設備更新 200,000	流量計更新 15,750	水位計濁度計更新 8,000		直流電源器更新 30,000			261,250	
	第2水源					流量計更新 8,000						8,000	
	第3水源		水位計電力設備 7,000	遠方監視制御工事 12,000		直流電源設備更新 30,000	直流電源設備更新 35,700			送水流量計更新 10,500		49,000	
	四ヶ谷配水管理所	非常用発電設備更新 193,752 濁度計設置 5,400										280,752	
	羽根沢受水場		遠方監視制御工事 12,000									61,500	
			直流電源設備更新 30,000										
			水位計流量計更新 19,500										
	相模が丘配水場		受変電設備更新設計 10,000	受変電設備更新 300,000	受変電設備更新 230,000	配水ポンプ更新 5,000	遠方監視制御更新 12,000	配水ポンプ更新 5,000	配水ポンプ更新 5,000	配水ポンプ更新 5,000	配水ポンプ更新 5,000		620,115
	第1配水場	水質自動測定器 通信設備設置 26,460		配水ポンプオーバーホール 22,000	配水ポンプ電動弁更新 20,000	水位計流量計更新 13,650	非常用発電設備設計 5,000	非常用発電設備更新 200,000	ポンプ制御盤更新 100,000	水位計更新 7,000	ポンプ電動弁更新 20,000		405,940
	第2配水場	緊急遮断弁更新 15,790		遠方監視制御更新 12,000	配水ポンプ電動弁更新 20,000	配水ポンプ更新 20,000	配水ポンプ更新 10,000	配水ポンプ更新 20,000					82,000
	深井戸							配水ポンプ更新 20,000					
	その他	水源涵養地整備 2,530 各施設計装設備更新 3,975		1号水位計流量計更新 13,650	4号水位計更新 3,150	1号電気設備更新 62,000	4号電気設備更新 62,000	5号電気設備更新 62,000					202,800
	計	247,907	108,805	356,650	532,000	128,100	124,500	267,000	135,000	22,500	35,400	1,957,862	
配水管網再編	配水管等管網			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	14,710	
	解折業務委託			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	14,710	
	計			3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	29,420	
合計	249,117	110,305	358,150	533,500	129,600	126,000	268,500	136,500	24,000	36,900	1,972,572		

単位：千円

## 第7章 財政シミュレーション

事業計画に基づき、今後 10 年間の本市水道事業における財政シミュレーションを行い次のような結果となりました。

- 一年間の経営活動により、どれだけ損益が生じたかを示す、純損益が平成 30 年度より損失が発生し、その後損失額が増額していきます。
- 企業経営を安定的に運営するために、建設投資の財源及び災害が発生した場合の復旧財源として、一定額以上の内部留保資金を確保することは重要であり、本市水道事業の経営規模を勘案すると 20 億円程の内部留保は常時必要であると考えます。平成 26 年度予算における内部留保資金の保有高は 27 億 1,121 万円ですが、水道料金収入が、現行料金のまま推移した場合、平成 32 年度には 20 億円を下回り、平成 35 年度には 13 億 2,436 万 1 千円となります。今後も経費削減に努めるとともに、料金の適正化を検討します。

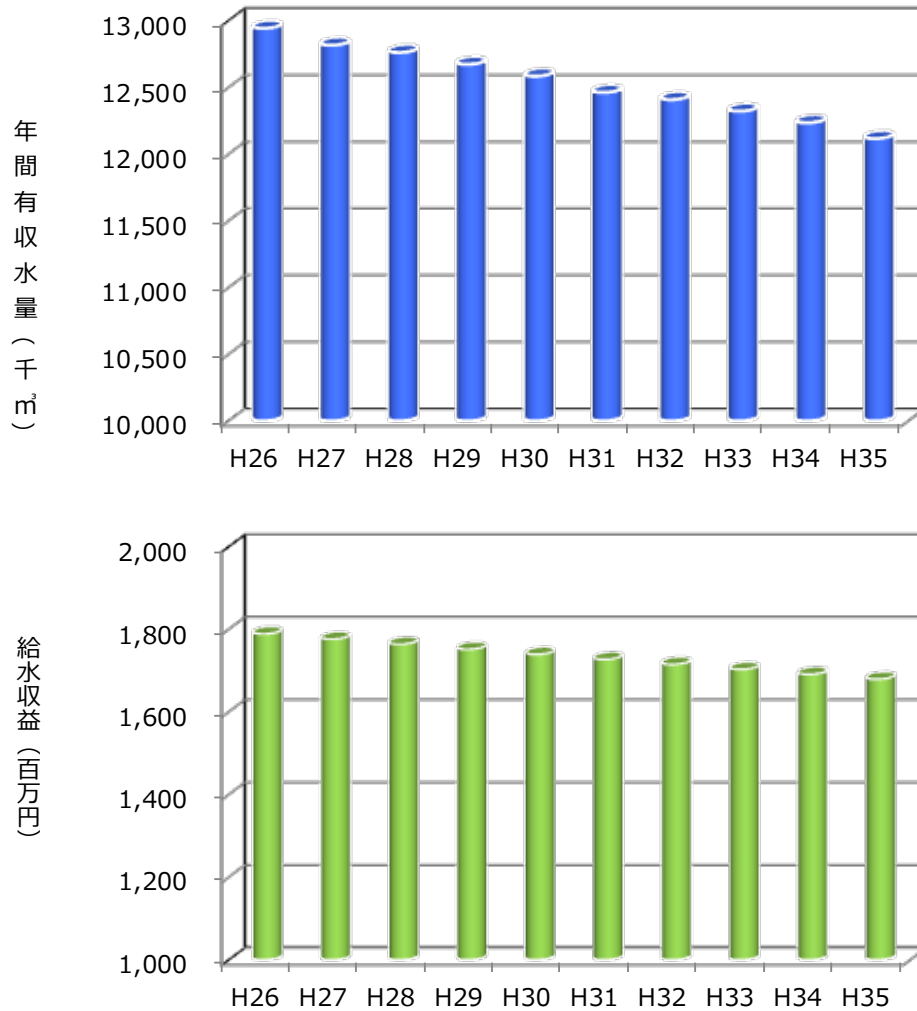
### ◆ 財政シミュレーション結果 ◆

単位：千円

項	目	H26予算	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
収益的 収支 損益	営業収益（税抜）	1,698,706	1,693,345	1,682,311	1,671,373	1,660,529	1,649,779	1,639,125	1,628,565	1,618,098	1,607,727
	営業費用（税抜）	1,953,967	1,873,458	1,899,452	1,973,360	2,008,832	2,033,197	2,011,131	2,027,692	2,006,018	2,031,503
	営業損益	▲ 255,261	▲ 180,113	▲ 217,141	▲ 301,987	▲ 348,303	▲ 383,418	▲ 372,006	▲ 399,127	▲ 387,920	▲ 423,776
	営業外収益（税抜）	432,564	394,399	390,126	386,892	384,275	379,704	376,843	371,099	364,265	361,297
	営業外費用（税抜）	41,200	45,261	53,366	61,412	67,321	70,970	76,127	82,958	85,452	89,568
	経常損益	136,103	169,025	119,619	23,493	▲ 31,349	▲ 74,684	▲ 71,290	▲ 110,986	▲ 109,107	▲ 152,047
	特別利益（税抜）	1,552	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損失（税抜）	47,508	20,507	20,507	20,507	20,507	20,507	20,507	20,507	20,507	20,507
	純損益	90,152	148,518	99,112	2,986	▲ 51,856	▲ 95,191	▲ 91,797	▲ 131,493	▲ 129,614	▲ 172,554
資本的 収支	資本的収入（税込）	515,504	761,106	782,707	812,646	524,186	734,217	624,934	635,673	526,434	327,218
	資本的支出（税込）	1,441,373	1,168,666	1,653,589	1,345,766	921,226	1,166,141	1,365,588	898,600	1,143,732	854,540
	収支不足額	925,869	407,560	870,882	533,120	397,040	431,924	740,654	262,927	617,298	527,322
累積資金保有額 年度末残高		2,711,210	2,732,382	2,398,831	2,198,307	2,228,934	2,090,205	1,793,888	1,706,255	1,493,753	1,324,361

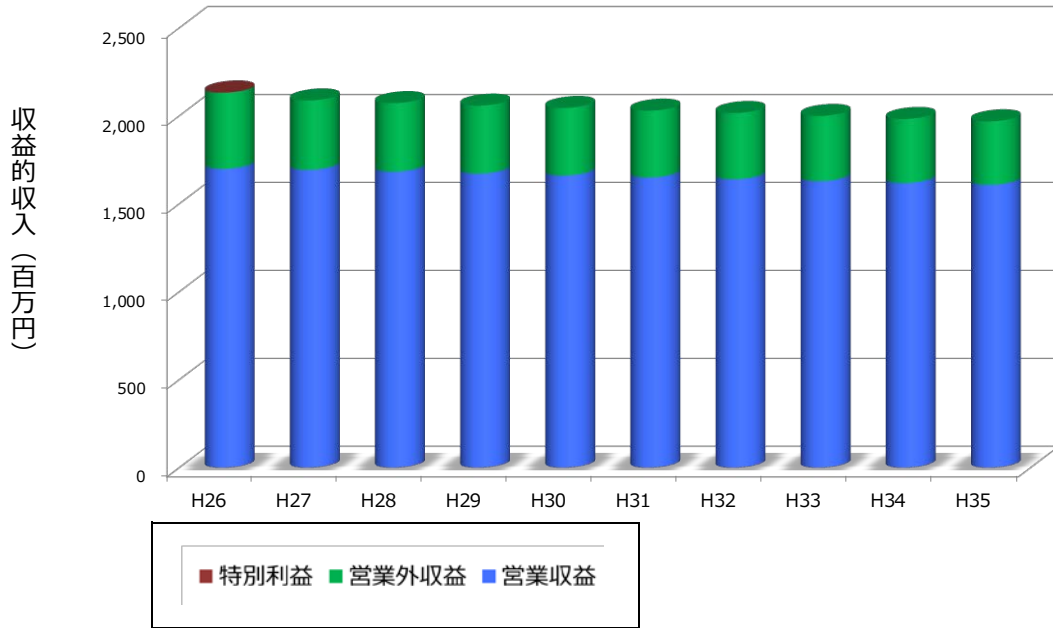
以下に、財政シミュレーションの結果のうち給水収益、収益的収支、資本的収支、企業債償還金と企業債未償還残高の将来予測を示します。

◆ 財政シミュレーション 給水収益 ◆

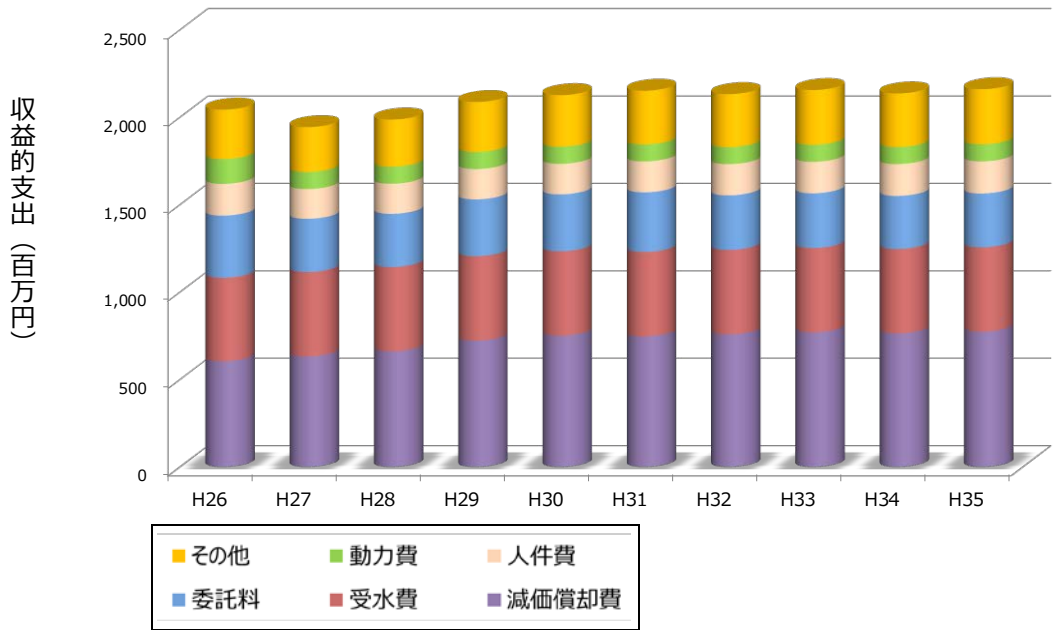


◆ 財政シミュレーション 収益的収支 ◆

収益的収入

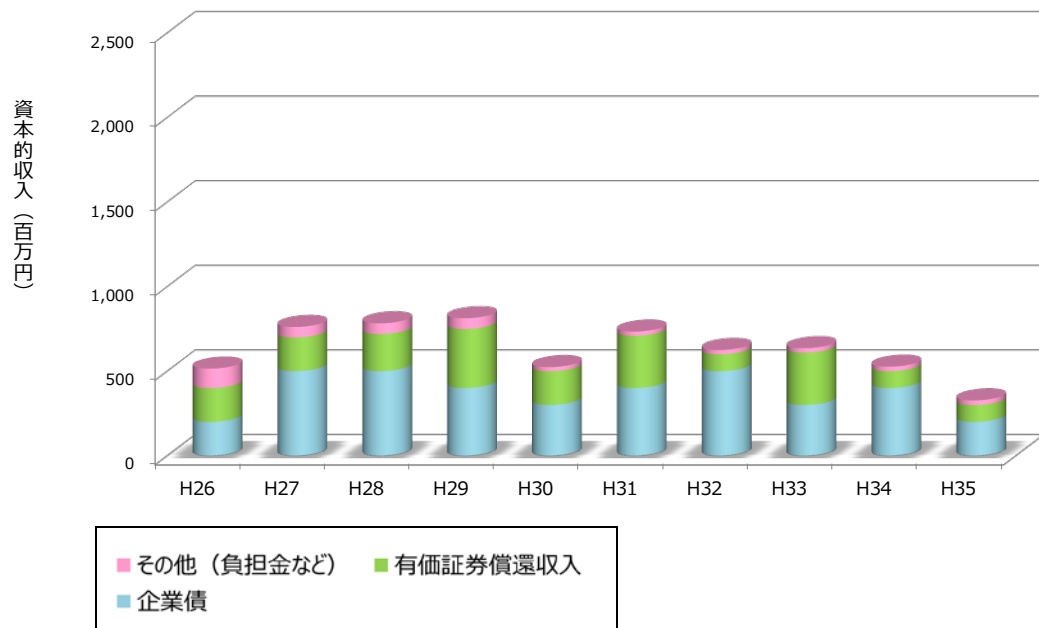


収益的支出

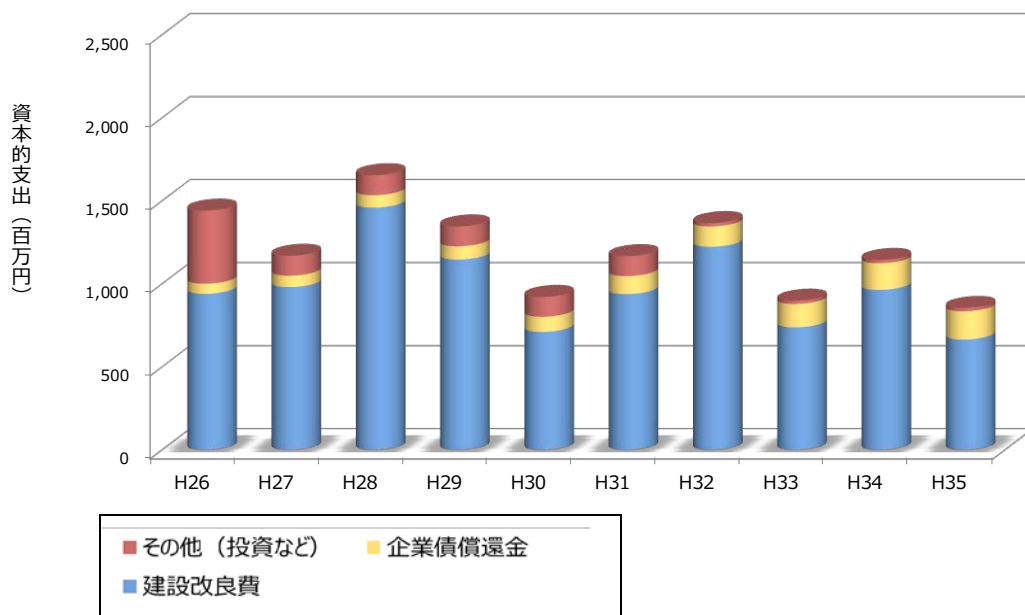


## ◆ 財政シミュレーション 資本的収支 ◆

資本的収入

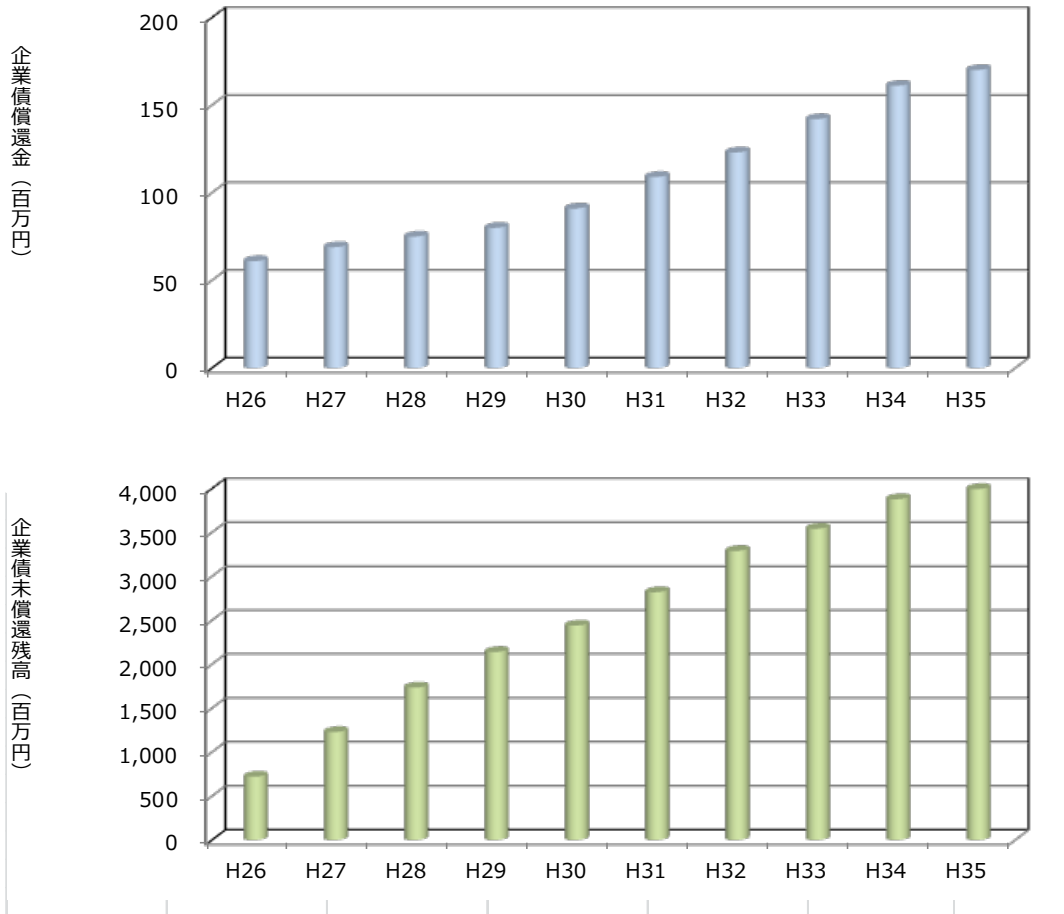


資本的支出





◆ 財政シミュレーション 企業債償還金と企業債未償還残高 ◆



## 第8章 経営プランの管理

「座間市水道事業経営プラン」策定後、東日本大震災を契機とした災害対策の見直しや、人口減少による収益の低下など、水道事業を取り巻く社会環境は大きく変化しました。今回の経営プラン改訂は、このような環境の変化に対応するものであり、今後も経営プランの管理を行なう必要があります。

経営プランの管理は、PDCA サイクルの手法を用い、課題の抽出、施策の見直しを継続して行い、お客様に対する公表・意見聴取を通して「座間市水道事業の目指すべき姿」が実現されるよう努めていきます。

### ◆ PDCA サイクルの実践 ◆

#### 座間市水道事業の 目指すべき姿

